

色素沈着症

色素異常症の中で色素沈着を起こすもの(シミやホクロ、アザなど)です。これらの疾患も、私の永遠の研究テーマであります。色素性のものには前癌状態の皮疹もあり、正確な診断と粘り強い治療が必要です。昔は治らないと言われていた病気も現在ではQスイッチルビーレーザーやLimelightのような安全かつ強力な光治療器の出現でかなり治る症例が増えてきました。

最近、シミやホクロ、赤ら顔、ニキビ痕、シワなどに対する高密度光治療(intensive photo skin therapy)が注目されております。小生もこれら難治性皮膚疾患に対する治療手段の拡大のため

LimeLight (cutera社製)とM22 (Luminus社製)を有しております。LimeLight治療は2週間に1回で、合計5～

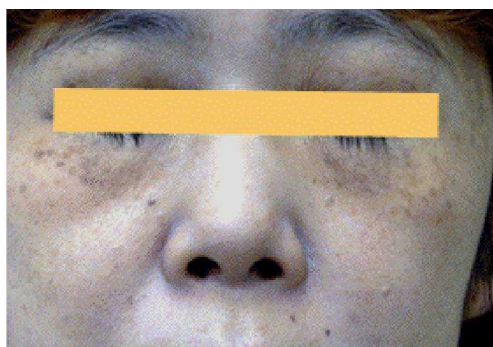
10回が標準的です。M22治療は月に1回です。痛みやヤケドなどの副作用がほとんどありません。

1回照射のみでシミの消えた方も居られます。関心をお持ちの方は是非御来院してみてください。

予約は不要です。また、最新のLED(発光ダイオード)治療機は皮膚の循環を改善し、ニキビや

加齢によるシミ、シワ、くすみ、クマ、赤ら顔、毛穴の開き、たるみに大変有効です。

1回10分間で顔全体に照射可能で、5回から10回が目安です。こちらは予約制です。



肝斑です。左右対称性に頬部に点在する色素斑が典型的です。旧式のレーザーの有効性は副作用の為にあまり期待できませんでしたが、Q-スイッチヤグレーザーとピコ秒レーザーの登場で安全で有効率90%以上となりました。これまではビタミンC やトラネキサム酸の内服や、ビタミンA誘導体クリーム、ハイドロキノンの外用治療が主体でしたが、最新のナノテクノロジーを駆使した低刺激の

1.9%ハイドロキノンクリーム(RestoreナノHQクリーム)、最強の4%ハイドロキノンクリーム(Restore,nanoHQ)を販売しております。さらにMdear社のHQツインエッセンスは4%ハイドロキノン、レチノール、乳酸などをオールインワンで含み、美容液としてはこれ1本で十分です。また肝斑の増悪因子である赤ら顔の有力な治療としてビタミンE誘導体美容液(Restore,TPNa30g)を御用意しております。血管拡張ホルモンであるプロスタグランدينを抑制し、1ヶ月の使用で赤味が約2分の1に減少します。また、cutera社製のgenesis(long puls yag laser)の中空照射や部分照射も大変有効です。また小生の師匠である故三嶋豊神戸大学名誉教授が30年前に開発したコウジ酸クリームもご提供しており、安全かつ肝斑に効果的なので大好評です。最近では肝斑の内服治療で効果が認められているトラネキサム酸クリームも販売開始しております。安全性は最も高く白斑患者さんの過剰色素沈着にもお勧めしております。



日光性黒子あるいは**老人性色素斑**です。加齢とともに誰もが持つこととなりますが、治療抵抗性です。**Q-スイッチルビーレーザー**治療はとても有効ですが、自費診療となります。この疾患では1~2回の照射で完治可能です。また、悪性黒色腫の前癌病変である悪性黒子との鑑別が必要です。もし癌であっても、早期発見すれば完治できます。肝斑に比べて治療で色が薄くなりやすく、左の初診時の写真と比較しても、右の写真の現在ではかなり色素が減少してきております。最終的にはお化粧する必要もなくなる程薄くなりました。また最新の高密度光治療**Limelight**やハイドロキノンクリーム外用も有効です。脂漏性角化症のように盛り上がった老化によるいぼは炭酸ガスレーザーによるアブレーション(表面蒸散剥離)が最も有効です。予約手術となります。



炎症後色素沈着です。海水浴スポーツなどで急激に日焼けすると出てきます。なかなか治りにくい厄介な色素異常症です。やはり、intensive photo skin therapy (Limelight)=Photo bright(cutera社製)とQスイッチルビーレーザー、炭酸ガスレーザー、ピコ秒レーザー(532nm)の照射が効果的です。